

## 放射線技術科

### 《概要》

(機器の更新について)

平成 21 年度は、骨密度測定装置の更新を行いました。これに伴い骨塩量だけでなく、骨強度も評価できるようになりました。前年度更新した 64 列 CT による心臓 CT 検査は、21 年度で 887 件(月平均 74 件)にまで増加しました。

診断分野における残りの機器(一般撮影系・核医学検査装置・X 線 TV 装置など)は継続課題となりましたが、開院時に設置した MR 装置や 5 年目を迎える PACS も更新対象として浮上いてきました。

(フィルム・レスの実施)

平成 20 年から実施しているフィルム・レス運用(一部特殊な検査をのぞく全ての検査)は、特に大きなトラブルも発生することなく継続運用を行っています。また、前年 12 月より開始した紹介患者様が持参された画像データ(フィルム・CD-R)の院内 PACS への取込みは、100 件前後まで件数が増加しました。しかし、当院だけでは解決できない DICOM 規格違反などの問題や画像圧縮方式の違いによる問題など未解決な課題も残りました。

(乳がん検診)

平成 21 年度は、年 5 回ではありますが、マンモグラフィによる乳がん検診を実施しました。次年度はもう少し回数を増やしたいと考えています。

(次年度に向けて)

継続課題とした装置に対し、更新にむけた努力を引き続き行うとともに、平成 20 年 6 月から開始したフィルム・レス運用を主とした経費削減を積極的に行う。また、放射線部門には、安全でミスのない検査の遂行が求められますが、当院の性格上 24 時間必要な画像診断検査や IVR 治療に迅速に対応できる体制の構築も必要と思われる。人事面では、役職者のレベルアップと体制強化に取り組んでいく。

また、放射線技師としての技術面でのスキルアップを図るだけでなく、施設見学や院内活動・社会活動などを通じてコミュニケーション能力を向上させる努力が必要である。その一環として今年度同様、オープンカンファランスに積極的に取り組んでいく。

文責:技術科長 小西康彦

### 2009 年度月別検査実施件数

	2009 年									2010 年			累 計	
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	今年度	前年度
単純撮影	3,764	3,369	4,102	3,994	3,496	3,701	3,925	3,691	3,739	3,637	3,477	3,964	44,859	41,047
乳房撮影	65	88	142	100	71	91	93	77	95	60	79	80	1,041	855
歯科撮影	102	69	74	104	73	80	57	80	100	70	73	88	970	568
骨塩定量	60	56	58	56	58	53	59	51	46	60	27	76	660	619
ポータブル撮影	707	712	682	732	782	655	820	801	819	766	818	837	9,131	7,957
術中撮影	130	111	142	148	138	146	148	116	137	129	132	137	1,614	1,594
CT	1,166	1,102	1,277	1,176	1,134	1,221	1,434	1,382	1,320	1,330	1,251	1,493	15,286	13,120
単純	922	701	802	805	667	753	921	866	826	839	806	883	9,791	8,111
造影	184	357	402	371	394	402	435	437	404	417	365	513	4,681	5,009
心臓	60	44	73	73	73	66	78	79	90	74	80	97	887	654
MR	608	573	665	673	623	608	668	643	660	610	690	796	7,817	7,166
単純	550	445	526	527	498	460	541	489	516	459	532	615	6,158	5,722
造影	58	128	139	146	125	148	127	154	144	151	158	181	1,659	1,444
血管造影	133	152	145	164	116	120	164	128	130	122	135	104	1,613	1,814
心臓	118	134	119	137	97	96	133	100	107	98	107	76	1,322	1,485
頭頸部	9	9	13	15	17	18	21	18	18	16	16	18	188	184
腹部骨盤・他	6	9	13	12	2	6	10	10	5	8	12	10	103	145
TV室撮影	142	119	162	118	115	92	133	101	115	94	89	93	1,373	1,676
RI	79	100	85	120	91	94	98	106	98	102	93	116	1,182	1,081
放射線治療	528	318	317	280	248	250	473	421	417	398	520	451	4,621	4,327
* 乳腺超音波検査	175	186	254	240	178	202	222	207	196	202	170	223	2,455	2,808
画像取込	47	59	62	87	87	78	79	94	124	108	106	122	1,053	
CD-R	25	29	28	48	35	43	49	55	75	52	65	85	589	
フィルム	22	30	34	39	42	35	30	39	49	56	41	37	454	

\* 乳腺超音波検査は、放射線技師実施分の件数です

## 《業績》

### (1) 原著、総説、著書 (2009.4～2010.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	患者ポジショニング	中平修司	これだけは習得しようCT検査			2009
2	HIS	小西康彦	放射線システム情報学			2010
3	コンピュータの基礎 運用管理のポイント	小西康彦	フィルムレス マスターブック			2010
4	放射線管理	前田直子	診療放射線技術改訂 12 版	下巻	279-328	2009

### (2) 学会研究会報告 (2009.4～2010.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	化学療法前後において造影エコー検査を施行した PCR の一例	山本有佳理	第 22 回日本乳腺・甲状腺超音波診断会議	2009. 4. 25
2	検査遅刻者への対応	行 正剛	日本放射線技師会 総合学術大会	2009. 6. 5
3	ボリュームは控えめにお願いします	池本達彦	Signa 甲子園	2009. 12. 5

### (3) 学術講演 (2009.4～2010.3)

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	医用画像情報	小西康彦	日本放射線技師会 グレードアップ講習会	2009. 4. 25
2	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 7. 3
3	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 7. 3
4	腹部血管模型の作成	行 正剛	関西循環器撮影研究会	2009. 7. 11-12
5	個人情報管理と医用画像管理	小西康彦	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 9. 2
6	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 9. 4
7	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 9. 4
8	医療情報管理～最近の話題～	小西康彦	放射線技術学会近畿部会 地域活性化事業	2009. 9. 26
9	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 11. 29
10	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団 研修会	2009. 11. 29
11	X線 CT 検査 画質・性能評価・線量特性	中平修司	日本放射線技師会 生涯学習セミナー	2009. 12. 13
12	X線 CT 検査 画質・性能評価・線量特性	中平修司	日本放射線技師会 生涯学習セミナー	2010. 1. 24
13	医用画像情報システムの基礎知識	小西康彦	大阪府放射線技師会 生涯学習セミナー	2010. 2. 5
14	小中規模施設における PACS 導入に関する基礎知識と注意点	小西康彦	和歌山県放射線技師会 研修会	2010. 3. 6
15	当院の乳腺MRI	株崎律子	佐野臨床技塾	2010. 3. 19

### (4) 院内研究活動 (2009.4～2010.3)

番号整理	演題	発表者	年月日
1	MRI の安全性について	常玄大輔	2009. 7. 30
2	MRI の安全性について	常玄大輔	2009. 8. 4
3	心理学的見地からみた患者接遇	飯塚明寿	2009. 11. 6